

## 大岡山町会 副会長 茂呂英子さん

### ■大岡山町会ではどのような防災活動をされていますか？

町会が実施する防災訓練では、スタンドパイプによる初期消火訓練をはじめとし、AEDの使用法、アルファ化米の炊き出し訓練、消火器の使い方、非常用担架の作り方や負傷者の運び方等、実践に役立つ訓練を実施しています。

今年7月12日に大岡山公園で実施した防災訓練では、2月に男女平等・共同参画センター企画の防災対策連続講座で作り方を習得した段ボールトイレを展示し、参加した地域の住民の方に実際に組み立てる手順を披露しました。販売店などで処分に困っている空き段ボールで、災害時にもっとも必要となるトイレを作ることができるので大変反響がありました。是非、作り方を教えてほしいというかたが多かったので、後日、町会で講習会を企画することにしました。

また、町会では住区主催の防災訓練にも参加していますが、東日本大震災をきっかけに、女性や子ども、要援護者に対するケアへの関心が高まり、防災倉庫には更衣室となるテントやトイレのランタンが装備されています。

町会や住区で行う防災訓練や避難所運営訓練は、各種の課題へ対応しつつ、着実に進展していると感じています。



◀町会の防災訓練で段ボールトイレの説明をしている様子



大岡山町会副会長で地域防災活動などに積極的に取り組まれている茂呂英子さんに活動内容や今後の目標などをうかがいました

### ■町会で行う防災講習会では、どのような工夫をされていますか？

参加者自身が体験することを狙いとしています。例えば、段ボールトイレを作成するときは、一回の講習会の参加者を10人程度に絞って、受講者一人ひとりがそれぞれ手を動かして段ボールトイレを作れるようにします。また受講者一人に対して町会役員が一人ずつ対応する予定です。これは、多数の受講者が参加し、グループごとに一つ作成するようにした場合、実際に段ボールトイレを作れない受講者が出てくることがあるためです。会場には商店街の会館など広いところを利用しています。

### ■今後はどのようなことに取り組んでいきたいとお考えですか？

自助、共助の重要性と地域住民の絆を強める活動を進めたいと思います。一方、高齢者やハンディキャップのあるかたなど、要援護者をどのように支援していくかが課題だと捉えています。災害発生時だけでなく、普段からサポートできる体制を整えていきたいと考えています。

そのために、区内の高齢者施設やボランティア活動に参加し、きっかけづくりに取り組んでいます。そして、地域の名簿作りや地域住民の交流をはじめとして、町会の存在や活動内容について広く知ってもらいたいと考えています。

★「きらり!情報局」と「登録団体の紹介」は、男女平等・共同参画センター運営委員会のメンバーが取材・執筆しました。

## 登録団体の紹介

# 子育てサロン「ほっこり」

今回の登録団体紹介は、子育てサロン「ほっこり」です。会員の皆さんにお話しいただきました。

### Q 活動のきっかけは何ですか？

子育て支援施設で働いていて、子育て中のお母さんから「私の育児は間違っていないかしら?」とか「ふと、解放されたいなあと思うことがあります。」などさまざまな話を聞きました。私たちはお母さんたちの悩みを少しでも軽くし、応援できたらいいと考え、2012年12月に認知症家族の会「たけのこ」に参加したおり、「市民交流サロン・ラミヨ」を使って、活動されたら?」とお言葉を頂いて、2013年3月に子育てサロン「ほっこり」を立ち上げました。今年の3月からは中目黒スクエアでも開催しています。

### Q どのような活動をしているのですか？

子育てサロン「ほっこり」には0歳から3歳くらいのお子さんと保護者が集います。日によって参加者はまちまちですが、スタッフは保育士や元教員などもいますが、みんなベテラン主婦の「ばあば」たちです。

最初はいらしてくれたお母さんたちとスタッフでお子さんをしばらく遊ばせ、そのあとスタッフ手づくりのお菓子をお出ししてのティータイムになります。ここで離乳食の知恵や子どもが寝ている間に作れる簡単なおやつや夕食のおかずづくりなどと子育ての悩みなどの話に花が咲きます。

### Q 活動を続けてうれしかったことをお聞かせください。

参加者が少しずつですが増え、親同士が仲良くなったことです。また、「出産後、初めて熱いお茶が飲めました」とおっしゃったお母さんがいました。せつかく熱いお茶を入れても、子どもの世話でいつもお茶が冷めてしまうのでしょうか。その一言はとても嬉しかったです。



保育の様子▶



◀左が代表の増田珠枝さん

### Q 行政の子育て支援に要望はありますか？

社会問題になっている「消えた子ども」が現実にあります。しかし、子ども本人に会えなければ安否を確認することができません。行政は子ども達を守る努力をして欲しいです。地域の子育て支援で訪問をする場合でも「子育てとはこうあらねばならない」というのではなく、母親の気持ちに寄り添うアドバイスをお願いしたいと思います。アドバイスが負担になると逆に母親を孤立させてしまい、追い詰められてしまう人もいます。昔の井戸端会議のように何でも気楽に話せる場の提供などの支援策が必要だと思っています。

### Q これからの課題はなんですか？

最近「私の子どもだけ他のお子さんと違うのでは?」と思い込むお母さんが増えています。そんな悩みを「子どもは一人ひとり違いますよ」と負担を軽くしてあげられたらと思っています。いまは女の子の参加者が多いのですが、元気な男の子も大歓迎ですよ!

“ほっこり”輪になって、お母さんたちに安心して帰ってもらえるような活動をしていきたいです。

### 子育てサロン「ほっこり」に興味のあるかたはお気軽にご連絡ください。

代表:増田珠枝(ますだ たまえ)  
活動日:第2水曜日中目黒スクエア9階研修室、保育室  
第4水曜日市民交流サロン「ラミヨ」(目黒区五本木一丁目5番11号)  
時間:午後1時30分~3時30分  
参加費:500円(保険代含む)  
連絡先:090-1656-1956(増田)